千葉大学関谷ゼミでのワークショップの結果概要

１　日　時　平成２７年１２月２１日（月）１２：５０～１４：３０
２　場　所　千葉大学西千葉キャンパス人文社会科学系総合研究棟１階共通演習室２
３　出席者　関谷ゼミの学生１３名
４　ワークショップのテーマ
・　どのようなまちにしていきたい？どういう地域が理想？（実現するための課題、ハードルは何？）
・　まちをよくするために、自分たちができることは何だろう？
５　検討結果
Ａグループ

どんなまちにしていきたい？	自分たちができることは何だろう？
外国人が住みやすいまち 外部と内部 気にしないまち 年中活発なまち ご近所づきあいが活発なまち ご近所さんの顔がわかるまち 騒音問題がないまち 子育てがしやすいまち 持続性・将来性のある地域（子育てをしやすい環境が整ったまち） 働きやすいまち 女性が働きやすいまち 高齢者が暮らしやすいまち 介護がしやすいまち	公民館で外国語・文化に触れる機会をつくる English House でのイベントに地域の人も参加してもらう あいさつをする 親不在時の子どもの遊び相手（ある程度信用のある大学生が率先）
防犯がしっかりしているまち 犯罪のない安全なまち 夜でも平気で歩いていけるまち 子どもが安全に暮らせるまち 子どもが遊びやすいまち	地域パトロール 交通ルールの周知徹底 サークル活動の一つとして小学校訪問
きれいなまち	清掃活動参加
よりどころ（誇れるもの）のあるまち 来たくなるようなまち	地域紹介のパンフレット作成 お祭り等の地域振興イベント まちおこしイベントの企画・参加
生活に必要な施設が近くに揃っているまち 病院が近くにあるまち	企業誘致 地産地消の特産品づくり（商店街レベル）

買い物がしやすいまち 商店街が活気あるまち	お店（商店街との人的な結びつき）

B グループ

どんなまちにしていきたい？	自分たちができることは何だろう？
（お店） 店が多い 買い物ができるまち 買い物が楽	和民ではなく行きつけで打ち上げ ひとまず近所のお店に行く 八百屋を使う
（交通） 交通の便が良い 移動が楽なまち	
（緑） 清潔 自然のあるまち 公園や緑のあるまち 緑が多い きれいなまち（環境・花）	ポイ捨てしない ゴミ拾い緑化運動
（年を気にしないまち） 高齢者が活躍 何歳になっても自分の好きなことができるまち	
（愛着） 通勤する人でも愛着がもてるまち 地元愛のあるまち 食べものがおいしいまち 自慢できるまち 魅力を誇れるまち 話のタネになるまち たくさんの人に知られているまち	
（居場所） 憩いの場 自由な空間（ex 空地）があるまち 行きつけのお店があるまち	公民館の充実（町内会議・子どもの遊び場・世代間交流） 誰でも集えるように居場所を確保する。cafe
（道路） 公園が広い	免許返納 歩く

歩道が広い 道が広い（自転車） 自転車に優しい	
（子ども） 子どもが多いまち	小学校の PTA の活動に参加 小学校・PTA を軸に保護者に限らないまとまりを 休日の学校施設の開放（レクチャーの実施）
（安心・安全） 治安の良いまち 安心できるまち 安全	子ども１１０番の看板を貼る 防犯のみまわり
（地域のまとまり） 地域行事 地域のつながり 隣の人の顔が見えるまち 会話が生まれるまち 笑顔があふれるまち 世代を超えてふれあえるまち 仲が良いまち 自分の意見が反映されるまち	やってみないとわからない、とにかく仲間になる 町内会の強化（市民所ファシリテーター） 町内会に出てみる 地域活動に参加する 行事に参加 町内の掲示板を使いやすく（SNS と連動させるなど） 行政の情報や地域情報を集めてネットで公表 あいさつする 近所の人と仲良く
	（発表する場・目標） 要望を出す 地域で話し合う課題を見つける 投稿する先 高齢者のサークル・同好会 自慢する
・まちを活気づけるために若者主導でイベントを実施する ・どう若者を動かす？目標は？ ・子どもを中心に	